

灯油ボイラーの燃費向上にチャレンジ

車のエアクリナーやマフラーに貼るだけで燃費向上や排ガス削減につながる、全国的な評判を呼んでいる「インテークマジック」。道内でも昨年から特約店や販売店が誕生しているが、この画期的なエコ製品を使って暖房ボイラーの燃費向上に図る取り組みが胆振管内で始まっている。

地域の有力工事店である荒川設備（本社・登別市、荒川昌伸社長）とエイト住設（本社・伊達市、柴田正秋社長）が、今年から本格的に取り組み始めた。既に登別市内の花き栽培ハウスで、養生用

荒川設備とエイト住設 特殊シール「インテークマジック」使い



の灯油ボイラー（マイクロトルネード）にインテークマジックを装着し、燃費の測定試験を実施。灯油使用量の比較で約30%の燃費改善が確認されている。

インテークマジックは徳本自動車（本社・富山市）が製造・販売元。ある鉱物油をバイオ処理した特殊シールが、マイクロ距離を走行した場合でも2000〜3000円安

を計測した。

ハウスのボイラーはネボン製。インテークマジックを装着した結果、それまで70ℓ台だった1日当たりの灯油消費量が50ℓ弱に激減したという。日によって異なるハウス内外の気温差を考慮しても「ボイラーの燃費は間違いなく約30%アップした」。今後は道立工業試験場の協力を得て、年内にも灯油ボイラーの燃費試験を実施する予定。特殊シールの効果を電気ボイラーやラジエーターでも試したい考え。

胆振管内は道内でも新技術・新製品の発明が盛んな土地柄。住宅設備分野でもアイデアを凝らした試みが始まった。